

コンクリート構造物の打継面の評価について、打継面の輝度分布から状態の良否を判定 【新たな使い方】

No.	21	分野	分野共通	プロセス	施工
目的	違いの判別 (打継面の処理状態がよい場合と悪い場合の明るさを判別)			撮影・可視化対象事項	明るさ、形状 (打継面の処理状態を評価)
技術要素	その他(専用ソフト解析)			活用効果	品質

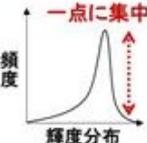
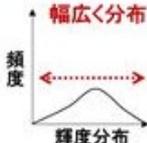
■背景および技術用途

- 打継面の処理状態が構造物の機能・性能に大きな影響を与えるが、処理状態の良否を定量的に判定する基準がない
- タブレット端末で撮影した写真から打継面の処理状態の良否をアプリケーションで判定
- 社員や作業員の経験によらず、一定の基準で打継面の処理状態を判定可能

■技術詳細

- 打継面の凹凸の状態、粗骨材の露出状態によって異なる輝度分布に着目
- 打継面処理が不十分な面では、凹凸が少なく輝度の違いが小さいため一点に集中した輝度分布を示す

表 打継面処理の良否判定の概念

	打継面処理が不十分	打継面処理が良好
コンクリート断面		
コンクリート上面		
輝度分布	<p>一点に集中</p> 	<p>幅広く分布</p> 

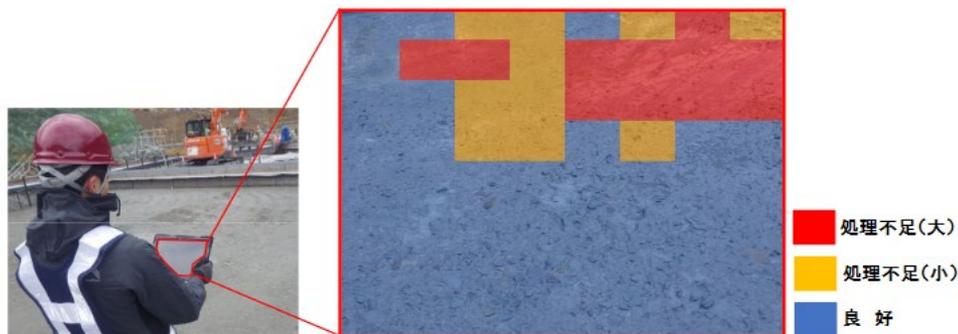


図 画像解析技術を活用した打継面の評価状況